

令和2年度

学校関係者評価書

延岡市立北浦中学校

令和3年2月

令和2年度 延岡市立北浦中学校 【学校関係者評価書】

【4：できている 3：だいたいできている 2：あまりできていない 1：できていない】

評価項目	評価指標	質問項目	職員	生徒	保護者	結果の考察・分析及び改善策等 (○：成果、●：課題、◎：改善策)	学校評議員コメント	評価
I 学習指導の充実に 関すること	1 北浦中学校では、「 学習指導の充実」 が図られているか。	(1) 学校では、「分かりやすい授業を行い生徒が考える場面をつくっている」と思っていますか。	3.1	3.4	2.8	○ 本年度は職員の校内研修で読解力の向上について取り組んだ。(小学校とも連携)生徒の読解力の向上を目指し、教師は授業中に文章やグラフを扱うときには、読み取る視点を示す発問を行うように意識した。 ● 読んだり、考えたりすることに抵抗感を感じる生徒をいかに主体的に授業に参加させるかが課題である。 ◎ 授業では一つ一つの指示を明確にして学習活動を進める。また、授業だけでは学力は定着しないので、家庭学習の充実を呼びかける。	○ 授業の場にいる生徒と教師がともに評価が高いことは素晴らしい。 ○ 保護者の評価が低いことが気になる。家庭で学習についての会話が行われているのか心配である。	3.7
		(2) 学校では、見る、聞く、話す、書く、課題の提出などの学習に取り組む態度について指導していると思いますか。	3.3	3.5	2.9	○ 学習の基盤となる能力(見る、聞く、話す、書く)を育成する場を設定したり、態度について指導したりする場を授業中に設定することができた。生徒の授業態度は全体的には良好である。課題の提出については各教科において、期間を決めて徹底した指導ができた。ほとんどの生徒が提出することができる。 ● 字を丁寧に書く、しっかりと話を聞くなど基本的な学習習慣の定着が十分でない生徒を支援していく必要がある。 ◎ 態度の指導を継続しながら、実態に合わせて集中力を維持できるように授業内容を工夫する必要がある。	○ 基本的な学習習慣の定着を目指した取組の成果か、参観した授業の様子は全て落ち着いていた。 ○ 家庭ですべき基本的な教育は家庭でも責任をもって指導すべきだと思う。	4
		(3) 学校は、生徒が、自己の将来を考えられるようなキャリア教育活動(自分の人生を考える活動)を実施していると思いますか。	3.6	3.4	2.8	○ コロナ禍の中、感染対策を行いながら地域内外で活躍されている方々を講師に招き、生徒に講話をしていただいた。生徒は勤労・社会貢献・地域創生等について貴重な話しを聞き、生徒の感想から自分の人生をどう生きるかについて考えることができた。 ● 現在の活動を維持できるように、講師を確保することが課題である。 ◎ PTAや市教委と連携しながら生徒のキャリア教育を支えていく体制を固めていく。	○ 素晴らしい講師を招き、良い活動ができていると思う。先生方の努力に感謝したい。	3.7

令和2年度 延岡市立北浦中学校 【学校関係者評価書】

【4：できている 3：だいたいできている 2：あまりできていない 1：できていない】

評価項目	評価指標	質問項目	職員	生徒	保護者	結果の考察・分析及び改善策等 (○：成果、●：課題、◎：改善策)	学校評議員コメント	評価
Ⅱ 生徒指導・保健安全指導の充実に関すること	2 北浦中学校では、「生徒指導・保健安全指導の充実」が図られている	(1) 学校は、基本的な生活習慣（あいさつ時間厳守、整理整頓など）が身に付く教育活動に取り組んでいると思いますか。	3.1	3.6	3.1	○ アンケートの結果を見ると、基本的な生活習慣の定着に関する評価は高い。部活動生の校外でのあいさつは素晴らしい。教室の整理整頓は学期が進むにつれて整然とできるようになった。 ● 修学旅行など外に出ると萎縮してあいさつができなかった。実践力を高めることが課題である。 ◎ 校外学習の機会にこそ、実践力を高めていく指導を行っていく。	○ 中学生のあいさつは地域では好評である。生徒の生活は全体的に落ち着いていると感じている。 ○ 部活動など他校との交流の機会にこそ実践力を発揮して欲しい。	3.3
		(2) 学校は、生徒が生徒会活動等を通して主体的に学校行事などに参加するように指導していると思いますか。	3.2	3.4	3.3	○ どの行事も生徒会を中心に生徒が主体的に活動できるように配慮した。体育大会は縮小実施だったが大きな達成感があった。 ● 生徒数が減少し、生徒個々の負担が大きくなっていることが課題である。 ◎ 行事の規模の縮小や内容を精選することで、生徒の負担感を軽減する。	○ コロナ禍の中、できる限りの行事や生徒会活動を実施し生徒に達成感を味わわせていると思う。 ○ 一部の生徒に頼り過ぎると負担が大きくなるので、全校生徒が力を合わせる活動を展開して欲しい。	3.3
		(3) 学校は、命と健康を守り考える指導を行っていると思いますか。 ・避難訓練 ・交通教室 ・安全点検（月1）	3.6	3.6	3.3	○ 避難訓練・交通教室は計画どおり実施できた。保険日より、学校保健委員会、命に関する講話など様々な場面で生徒に情報を発信し考える場を設定することができた。 ● むし歯の治療率が低いことが課題である。 ◎ 保健日よりやメールでの情報発信、個人面談での指導を粘り強く行い治療率を上げる。	○ 年度当初に命や安全に関する指導にしっかりと取り組んでいることが素晴らしい。	3.7
		(4) 学校は、体育的活動や部活動の充実を図り、体力向上や人間力向上に努めていると思いますか。	3.5	3.6	3.2	○ 体育大会、駅伝持久走大会などの体育的行事に生徒は真面目かつ積極的に参加することができる。部活動はギリギリの人数で活動しているがやりがいと活気に溢れている。 ● テニスコートの表面など環境整備が課題である。 ◎ 北浦分室と連携しながら環境整備に取り組んでいく。生徒の活動場所の除草作業は保護者と連携して行う。	○ 部活動生が一生懸命に頑張っていることが地域に伝わってくる。成果が出ていることも嬉しく思う。	3.3

令和2年度 延岡市立北浦中学校 【学校関係者評価書】

【4：できている 3：だいたいできている 2：あまりできていない 1：できていない】

評価項目	評価指標	質問項目	職員	生徒	保護者	結果の考察・分析及び改善策等 (○：成果、●：課題、◎：改善策)	学校評議員コメント	評価
Ⅲ 道徳教育・人権教育に関すること	の3 北浦中学校では、「道徳教育や人権教育」が図られているか。	(1) 学校は、道徳性（思いやり・公德心・協調性）を備えた生徒の育成に努めていると思いますか。	3.1	3.4	2.9	○ 道徳生を高めるために日々の指導や授業研究を行うことができた。道徳の授業は担任と副担が協力して交代で行っている。 ● 自己中心的な発想から共生社会の実現に向けて発想を転換することが課題である。 ◎ 特効薬は無いので、日々の実践を根気強く積み重ね生徒の道徳性を向上させていく。	○ 年齢的に難しい年頃でもある。学校生活全体の中で継続した指導と家庭での指導が大切だと思う。	3.3
		(2) 学校は、集会での講話、外部講師による講話、読書活動の充実など心を豊かにする活動を行っている。	3.5	3.5	3.1	○ 読書量は推進委員の協力のおかげでかなり伸びている。外部人材を活用しての講話は積極的に行うことができた。 ● 生徒の読書量と本の内容について個人差が大きいことが課題である。 ◎ 受動的な情報収集ではなく、読書などの心を豊かにする積極的な情報収集を推奨する。	○ 広い視野が身に付くように積極的に外部人材の活用をお願いしたい。	3.7
		(3) 学校は、お互いの生命と人権を尊重する教育活動に取り組んでいると思いますか。 ・教育相談 ・いじめアンケート	3.6	3.7	2.9	○ 教育相談は学期1回、いじめアンケートは月1回を計画的に実施できた。大きなトラブルは無く小さなトラブルの内に解決することができた。 ● 人を傷つける心ない発言が聞かれることが課題である。 ◎ 放送による読み聞かせなど、人権に関する取組を増やす。	○ 人間愛、生命尊重など大切なことが失われてきている気がする。人を傷つける発言は家庭でこそ指導が必要。	3.3
Ⅳ 保護者や地域との連携に	して4 北浦中学校では、保護者や地域と連携し、学校の活動が分かるように努力しているか。	(1) 学校だより・学級通信・まちコミメール・ホームページなどを通して学校の情報が、保護者や地域に積極的に発信されていると思いますか。	3.6	3.6	3.4	○ メール加入率が100%になり様々な連絡が容易になった。HPの閲覧数が十万を超え、関心の高さが伺える。 ● 特に紙媒体で発信した情報が保護者に伝わりにくいことが課題である。 ◎ 保護者と連携して、メールでお知らせしながらプリントを見せる習慣の定着を測る必要がある。	○ 子どもが親にプリントを見せないのは習慣の問題で家庭の問題。メールにより確実に連絡が行くのは良いことだと思う。学校からの情報提供は素晴らしい。	4.0
		(2) 学校は、保護者や地域と連携して教育活動を行っていると思いますか。 ・はげまし隊 ・学校協力隊 ・地域の活動	3.4	3.4	3.2	○ コロナ禍で十分な連携はできなかったが、PTA三役を中心に奉仕作業、行事への協力などの活動を行った。 ● コロナ禍で活動できなかったはげまし隊・学校協力隊との連携の流れを再確認する必要がある。 ◎ 協力体制が崩れないように、規模を縮小してでも連携を維持していく。	○ できる限りの活動をしていることが素晴らしい。子供達のためにしっかりと活動できていることに驚いた。	3.3

その他

コロナ禍の中で制限がある中、多くの教育内容を子供達に提供していることに驚いた。新聞等のメディアに取り上げられることが多く子供達の活動が目立った。子供達の活動を支えてくださった先生方と保護者に感謝したい。